

## ① 原子力機構の目指すべき方向

- ・すべての職員が高いモチベーションを持ち、成果を発信し、社会に貢献する組織
- ・安全を第一に考え、ルールを遵守する組織
- ・自律的に課題を把握・判断し、解決していける組織
- ・原子力界の先導役として、また、下支えとして、全ての原子力の課題に貢献できる組織
- ・事業の選択と集中が徹底され、適切にガバナンスが効いている組織

## ② 改革計画の内容・進め方

- ・改革計画の内容は妥当か？追加すべき視点はないか？
- ・「強い経営」を行うに当たって留意すべき点は何か？（例：組織再編の設計は適切か？）
- ・安全文化を醸成するための活動を実施していくに当たって留意すべき点は何か？
- ・職員の意識や組織の風土を変えていくために重要なことは何か？
- ・大学や産業界との連携を図っていくために重要なことは何か？

## ③ 改革の検証のあり方

- ・検証委員会はどのような視点で改革を検証するか？
- ・改革のアウトカムを更に、定量化・見える化するためには、どうしたらよいか？